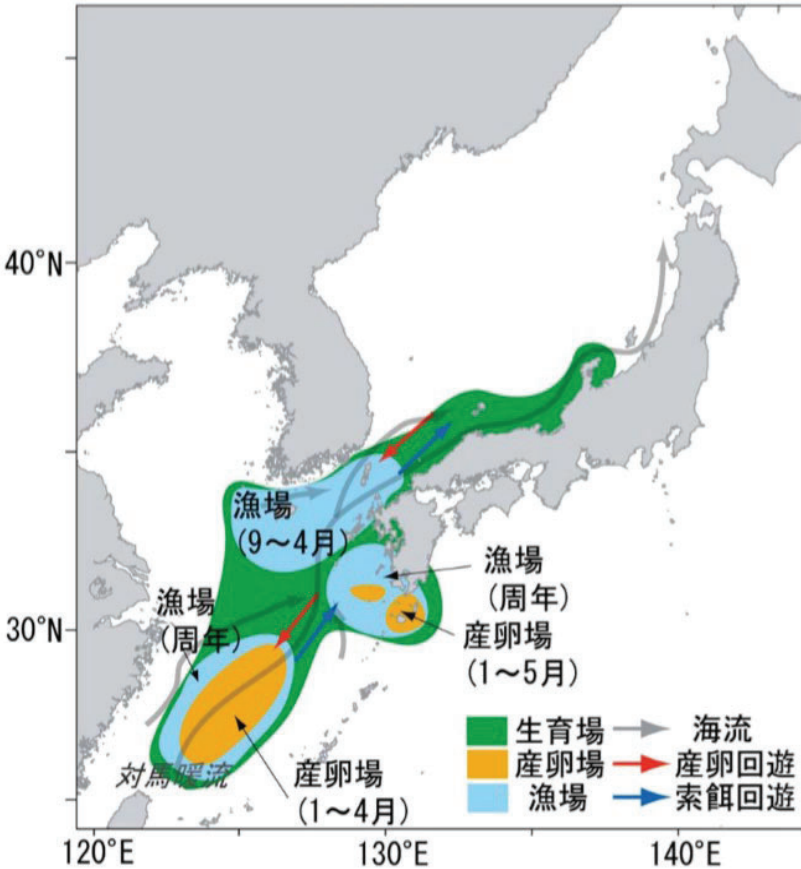




ゴマサバ東シナ海系群 令和2年度資源評価結果

1

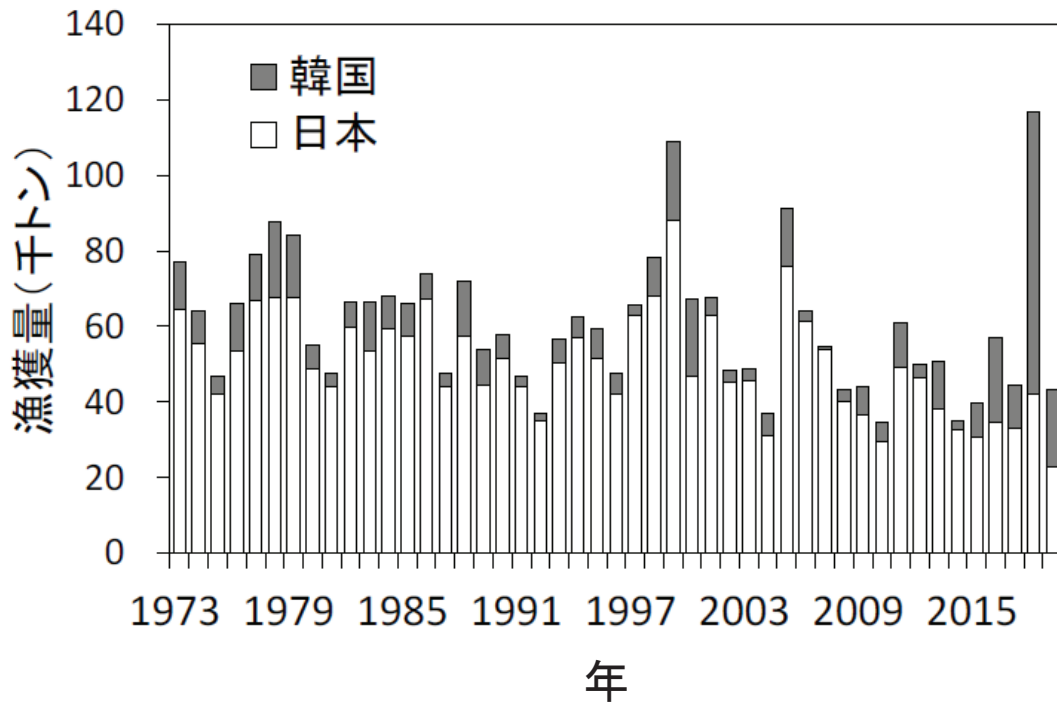
ゴマサバ東シナ海系群 生物学的特性



- 生物学的特性**
- 寿命：6歳程度
 - 成熟開始年齢：1歳 (60%)、2歳 (85%)、3歳 (100%)
 - 産卵期・産卵場：東シナ海中部・南部～九州南部沿岸 (1～4月)、東シナ海中部～九州西岸 (5月)
 - 索餌期・索餌場：東シナ海～日本海西部、春～夏季に索餌のため北上回遊、秋～冬季に越冬・産卵のため南下回遊、マサバよりやや南方域に分布
 - 食性：幼魚はイワシ類の稚仔魚や浮遊性の甲殻類など、成魚は動物プランクトンや小型魚類を捕食
 - 捕食者：稚幼魚は魚食性の魚類に捕食される

2

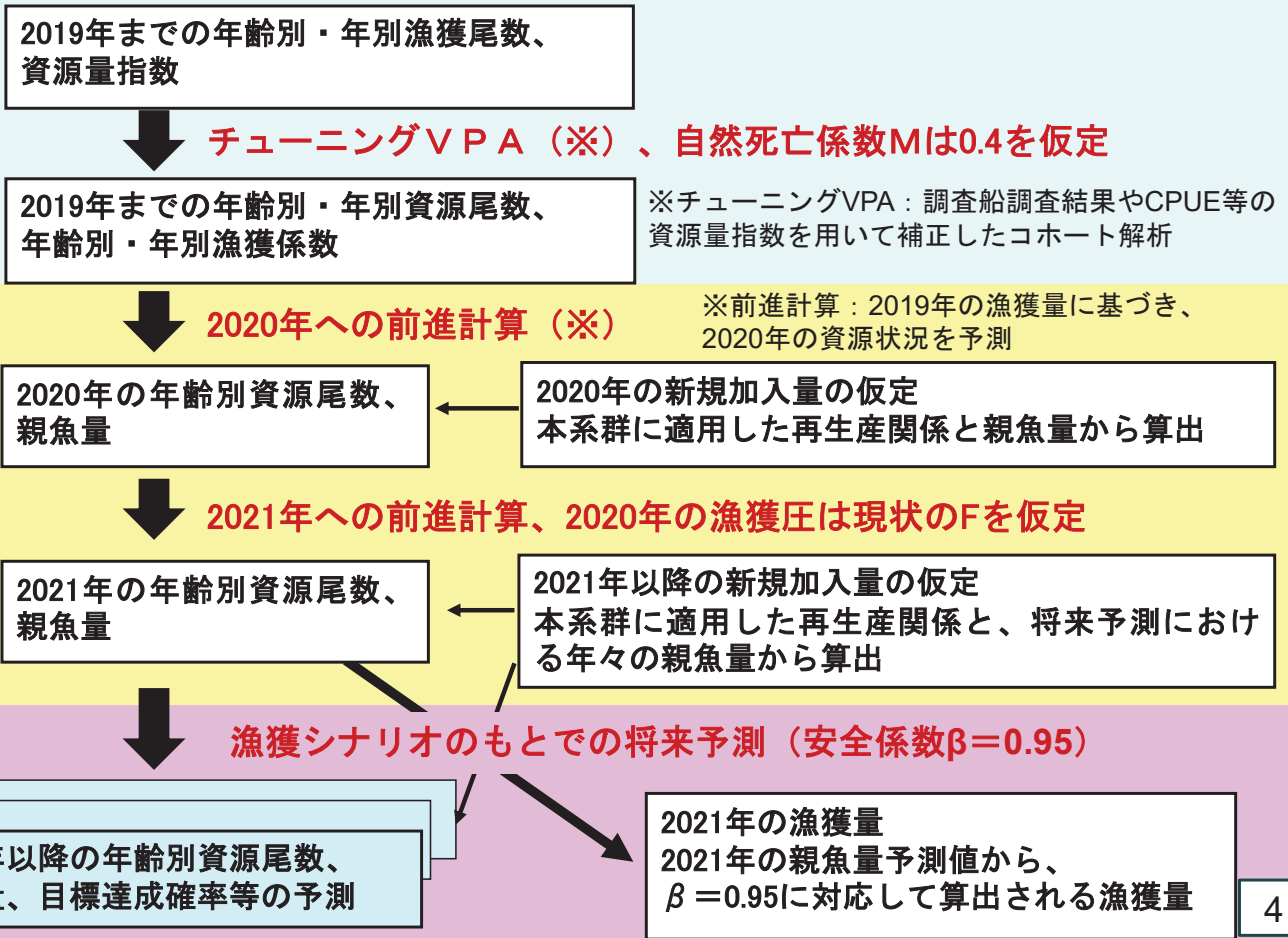
漁獲の動向



- 2019年の漁獲量 日本:2.3万トン 韓国:2万トン
- ※中国の漁獲は含まない

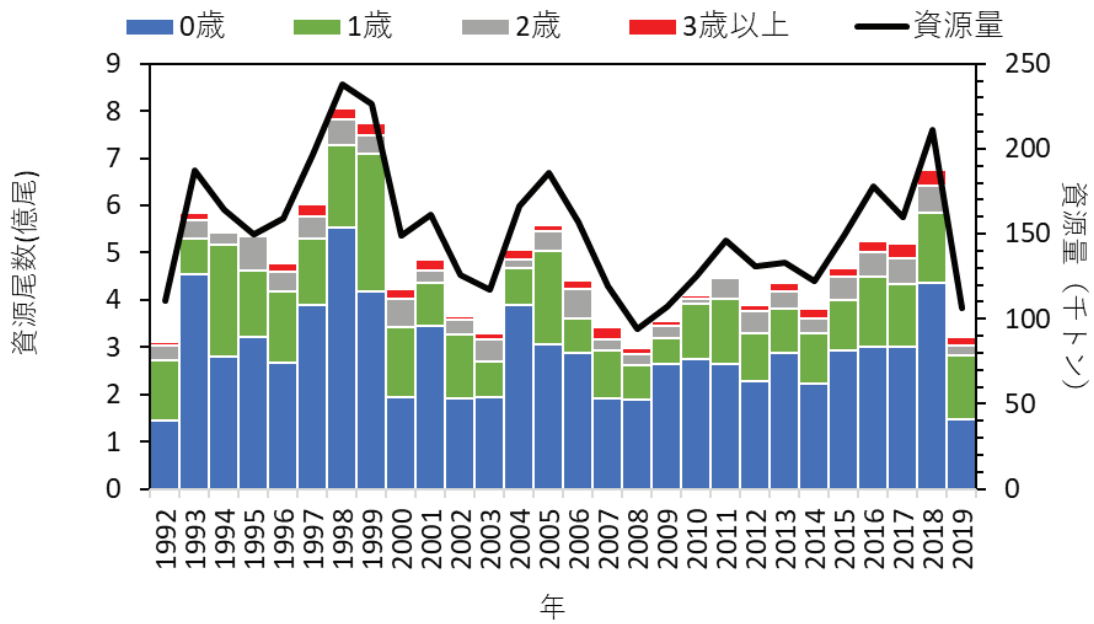
3

資源評価の流れ



4

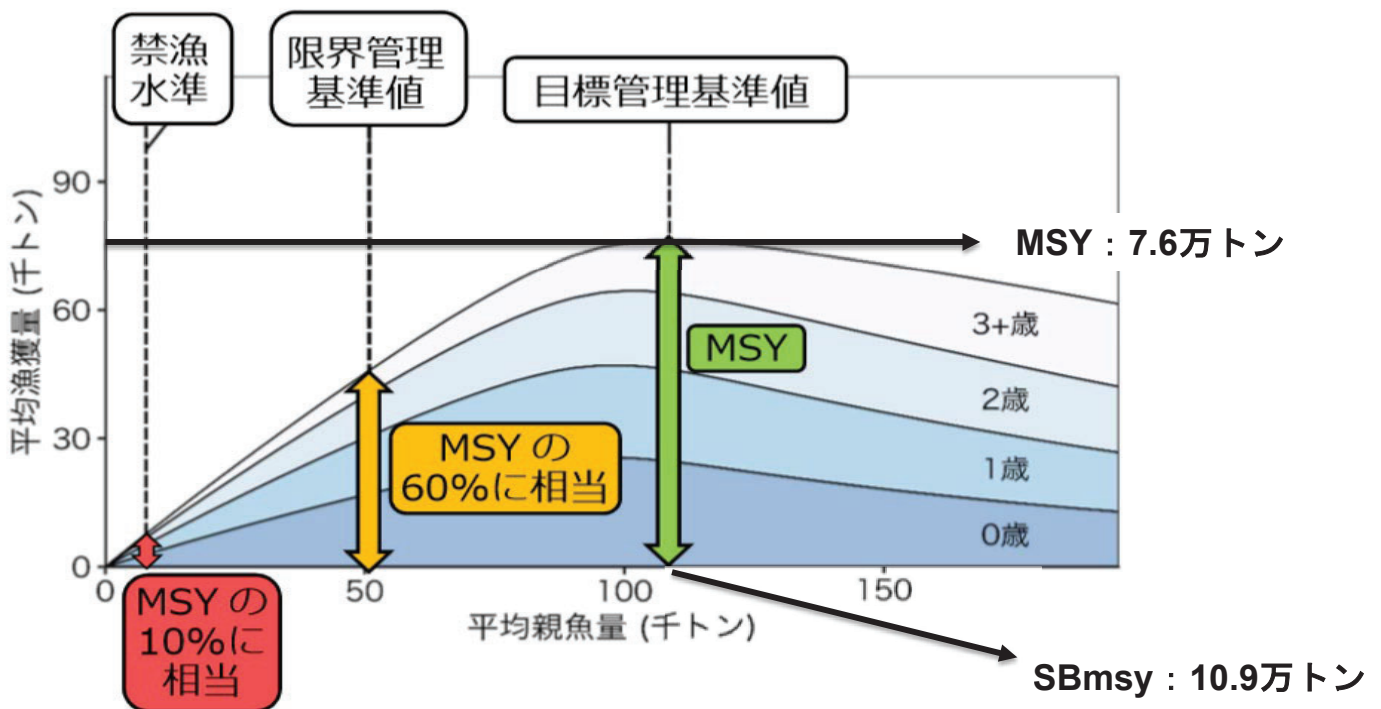
資源の動向



●資源量：2018年は21.1万トン、2019年は10.6万トン

5

MSY

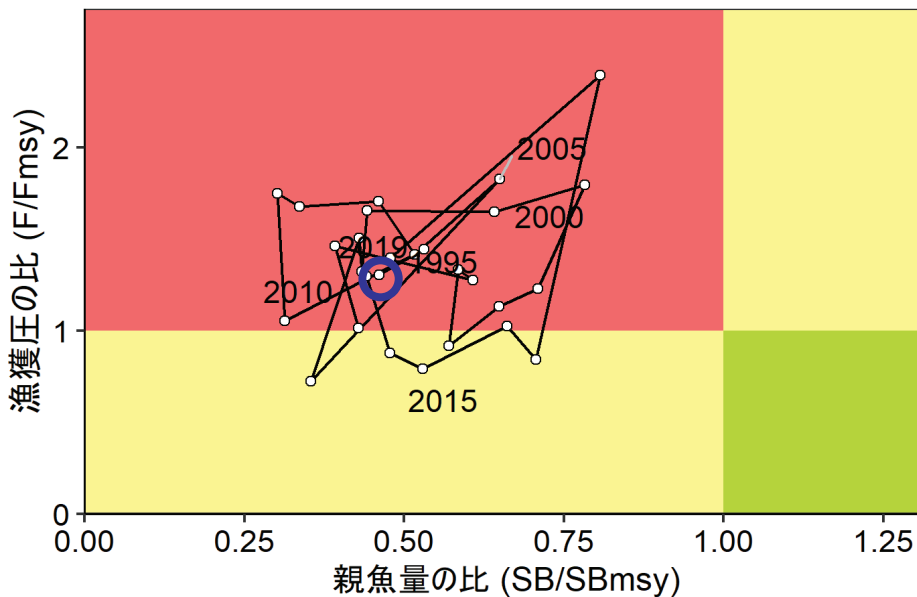


●最大持続生産量(MSY)：7.6万トン

●MSYを実現する親魚量(SBmsy、目標管理基準値)：10.9万トン

6

神戸プロット(チャート)



※神戸プロット: 資源水準と漁獲圧について、最大持続生産量を実現する水準と比較した形で過去から現在までの推移を表示したもの

- 2019年の親魚量: MSYを実現する親魚量を下回っている。
- 2019年の漁獲圧: MSYを実現する漁獲圧を上回っている。

7

将来の親魚量及び漁獲量の推移

将来の平均親魚量 (千トン)

2030年に親魚量が目標管理基準値(10.9万トン)を上回る確率

β	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	確率	2031
1.00	52	41	39	50	59	68	76	84	91	96	100	103	39%	105
0.95	52	41	39	51	61	72	82	91	99	104	108	111	51%	112
0.90	52	41	39	52	64	75	87	98	106	112	116	118	64%	120
0.80	52	41	39	54	68	84	100	113	122	128	131	133	86%	134
0.70	52	41	39	56	73	94	113	129	139	145	147	148	96%	149

将来の平均漁獲量 (千トン)

β	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
1.00	43	40	24	37	45	51	58	63	67	70	72	73	75
0.95	43	40	23	36	45	52	59	64	68	71	73	74	75
0.90	43	40	22	35	45	52	59	65	69	72	73	75	75
0.80	43	40	19	34	43	52	60	66	69	72	73	73	74
0.70	43	40	17	31	42	51	59	65	68	70	71	71	71

- 「資源管理方針に関する検討会」にて取りまとめられた漁獲シナリオ($\beta = 0.95$)に基づき算出される2021年の漁獲量は2.3万トン。
- 上記の表は暦年(1月~12月)の値であり、2021年漁期(7月~翌年6月)の漁獲量は2.4万トン。

8